

夏休み親子で楽しむ  
「ロボット作り教室」  
100組200名の親子が参加

猛暑が一段落してきた8月20日、21日、大田工業連合会と大田区産業経済部産業振興課は、大田区産業プラザP102階の小展示ホールで、夏休み親子で楽しむ「ロボット作り教室」を開催した。各日に午前の部と午後の部があり、各回に約25組50名、合計で200名が参加した。新型コロナウイルスの感染が再拡大していることもあり、感染防止対策を施した上での開催となった。

ロボットの構造が理解できるようになっている。

20日午後の教室の開催にあたり、当会の広瀬安会長は「私は大田区で育って60余年。参加者の皆さんくらいの年齢の時には、『ロボットと言えば手塚治虫の『鉄腕アトム』でした。ロボットが身近な最近の世の中を見ていると、子供の頃の夢が実現していると感じます。今日のロボット作りが、将来、皆さんの夢を実現するきっかけになればと思います」とあいさつした。西川恭子事務局長は「ロボット作りは難しいところもありますが、講師の先生が協力してくれるので、諦めずに頑張ってください」と呼びかけた。

教材として使われたのは、二足歩行ロボット「ステッピー」だ。今回の教室で講師を務めた、芝浦工業大学の事業法人であるエスアイテック（東京都江東区）が製造・販売するロボットキットで、タミヤの2チャンネルリモコンボックス、シングルギアボックス（4速タイプ）、アルミニウム製の筐体で構成する。単三電池か単四電池で駆動し、歩行のほか、綱渡りなどでもできる。3時間程度で組み立てられるシンプルな構造だ。ものづくりを楽しみながら、ロ

子供たちは、自宅から持参したニッパーとドライバーを使い、どんどんとステッピーを組み立てていった。説明書を見ながらの作業だったが、細かな部品も多く、構造が複雑な箇所も多い。親子で話し合い、作業を助け合いながら、各テーブルで作業が進んでいった。



ステッピーを歩かせる子供たち

組み立てが一段落すると、それぞれのテーブルの上でステッピーが動き出した。会場内にはモーターの駆動音と、シャカシャカというアルミ筐体がこすれる音が響く。最初からスムーズに歩けるステッピーは少なかった



挨拶する広瀬会長

が、子供たちは何度も部品の調整に取り組み、多くのステッピーが二足歩行するようになった。外の廊下に作られた歩行コースのほか、綱渡りのコースでは器用に綱を渡るステッピーの姿が見られた。

小学4年生の渡明真さんは「工作が好きなので参加しました。ナットを締めるところとか難しい所もあったけれど、お母さんに押さえてもらって完成しました」とコメント。小学2年生の関友菜さんは「学校のプリントで知って申し込みました。楽しかったので、また参加したいです」と笑顔で答えた。

日本は、新型コロナウイルスの感染拡大はあれど経済活動の歩みを止めない「ウィズコロナ」時代に突入した。社会全体の重苦しさは払拭できていないが、親子でものづくりを楽しむ本イベントは、子供たちにとって最高の夏の思い出となったことだろう。



親子で楽しむ「ロボット作り教室」 in 大田区 2022  
2022年8月20日(土)～21日(日) [2日間]  
主催：大田区・一般社団法人大田工業連合会

大田区より

風しん抗体検査・予防接種を無料で受けられます！

【対象者】

昭和37年4月2日から昭和54年4月1日生まれの男性のうち、  
抗体検査をまだ受けていない方

※公的接種を受ける機会がなく、抗体保有率が他の世代に比べて低くなっています。

区から令和4年5月中旬、対象の方（令和4年4月1日時点で区内在住）に、風しんの抗体検査・予防接種を無料で受けることができるクーポン券を一斉発送しました。実施医療機関だけでなく、職場での事業所健診の機会に受けることができます。詳細は勤務先の健診担当にお問い合わせください。

【事業所のご担当者様へ】

対象の方が風しんの抗体検査を受けることができるよう、ご協力をお願いします。

◆事業所健診で風しん抗体検査を実施できるよう健診委託先との調整をお願いします

定期健診等においてクーポン券を利用して抗体検査を実施できるか、健診委託先の医療機関にご確認いただき、実施できる場合は、今後健診の委託内容に風しん抗体検査を含めて実施いただくようお願いします。

◆対象者へクーポン券を利用するよう呼びかけにご協力ください

職場の健診や、医療機関受診時などに、クーポン券を持参して風しんの抗体検査を受けるよう、対象者への普及啓発にご協力ください。

詳細情報は大田区ホームページでご確認ください。  
右記QRコードからアクセスできます。



問合先：大田区保健所感染症対策課

電話：03-5744-1263

F A X：03-5744-1524